

THE ROKKOU

六 甲

第45号 (第3後方支援連隊広報誌)

- 1 p 連隊長年頭のご挨拶
- 2 p 連隊OB会会長年頭のご挨拶
- 3 p 連隊らっぱ競技会
- 4 p 連隊銃剣道競技会 (1)
- 5 p 連隊銃剣道競技会 (2)

- 6 p 姫路城クリーン作戦
- 7 p 年末行事
- 8 p 平成24年訓練始め
- 9 p 定期昇任
- 10 p 編集後記

『表紙：平成24年訓練始め（徒步行進）』

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

連隊OB会の皆様、隊員及び隊員御家族の皆様、平成24年の新春をお健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災や紀伊半島での台風被害等々、災害の多い苦難の年でありました。連隊OB会の皆様からは、日常の諸行事はもとより災害派遣活動中に多大なる御支援・御協力をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。隊員家族の皆様

には、自衛隊の活動に対する御理解・御協力をいただきまして重ねて御礼申し上げます。我々現役

にとっては、日頃の教育訓練や支援業務、部隊・隊員の絆の重要性を再認識した教訓の多い年とな

りました。

本年は、訓練検閲を受閲する年であり、後方支援連隊の真価を問われる重要な年であります。これまで以上に教育訓練、支援業務に精進し「ニーズに即応する」ことを主眼に「生き残りかつ支援できる精強な連隊」を育成していく所存であります。

本年が皆様にとりまして幸多き最良の年となりますことを祈念致しますとともに、連隊へのより一層の御支援・御鞭撻をお願い申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

第3後方支援連隊長 1等陸佐 黒丸 逸朗



年頭のご挨拶

第3 後方支援連隊の皆様へ

隊員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

お正月は何をされましたか。営内居住の皆さんは、故郷に帰られ、肉親等と楽しく過ごされ、そして、家族へ自衛官として立派になった姿を見せられたでしょうか。きっとご家族は頼もしく思われたと推察致します。

さて、去年は未曾有の大震災に明け暮れた心の重い年でありました。11月22日、伊丹駐屯地において、隊友会主催の講演会で、連隊長が講演された時に紹介された映像が私の脳裏に焼き付いております。今回の災害派遣部隊の活動につきましては、日本国民は基より、世界の人々からも賞賛と感動を与えたものと確信致しております。

また、余談ではありますが、現在上映中の「連合艦隊司令長官 山本五十六」で頭に浮かんだ事を申します。司令長官に着任した山本五十六は、海軍全将兵に、「苦しい事もあるだろう、言いたい事もあるだろう、不満な事もあるだろう、腹の立つ事もあるだろう、泣きたい時もあるだろう、これらをじっとこらえてゆくのが、男の修行である」と、士気を鼓舞（励まし勢いをつけ且つ勇気を与える）した事で、将に名言であると思います。自衛官としても、大いに心に銘記する事と私は思います。

OB会長に就任して皆さんと接して、私の自衛隊生活を回顧致しますと、昭和25年7月27日警察予備隊に入隊し、約30年を経て昭和54年9月11日（満50歳）に第3輸送隊にて定年退官しました。この間、歴代の隊長、上司から数々の薫陶を受け、又同僚との絆を築きました。当時も2年間の満期制で、1個小隊、約40名、満期時には90%が去って行き淋しい思いもしましたが、定年まで勤務した「達成感」と「誇り」は、私の宝物です。

隊員の皆様、自衛官としての誇りと自信を持って、その志を全うされん事を祈念致します。



第3 後方支援連隊OB会会長

吉田 菊次

連隊らっぱ競技会

3/10

連隊は、平成23年12月1日（木）、千僧駐屯地南側地区において、らっぱ競技会を実施した。各部隊から選りすぐりの代表選手13名が、課題曲（君が代）と自由曲の2曲を吹奏した。審査員には連隊長を始め、各部隊長が務め、第3音楽隊からも審査員の支援をいただきながら競技を実施。緊張感に包まれた競技会場では、そうそうたる審査員を目の前にし、各部隊の隊員が見守る中、各選手は培ってきた練成成果を遺憾なく発揮し、らっぱの音色を響かせた。



選手宣誓

第1整備大隊 火器車両整備中隊 須藤3曹



審査員の前で堂々と吹奏する選手



第3音楽隊から支援を受けての
厳正な審査



応援に囲まれて緊張しながらの吹奏

第1位



第1整備大隊 本部付隊
小野3曹

第2位



衛生隊
大野士長

特別賞



補給隊
宮原士長

連隊銃剣道競技会(1)

4/10

連隊は、平成23年12月18日(日)、千僧駐屯地体育館において、連隊銃剣道競技会を実施した。
団体戦は16チームが各4チームに別れて総当たり戦を行い、上位2チームずつの計8チームが決勝トーナメントに進出。
勝ち抜き戦を戦った。個人戦は、陸士限定のトーナメント方式で行われ、入隊2年以上の部・2年未満の部及び女性自衛官の部で実施し、気迫溢れる試合を行った。



選手宣誓

第1整備大隊 通信電子整備隊 佐藤士長



勝ちにこだわり突きまくる



OB会の方々も観戦に来られました



気迫溢れる勝負に拍手!



見事な一突き! 一本!



勝負あり!

連隊銃剣道競技会(2)

団体戦の決勝戦、第1整備大隊Aチームと第2整備大隊Fチームの試合は両チーム一步も引かず大将戦まで纏れ込む熱戦となった。最後は第1整備大隊施設整備隊長の中川1尉がベテランの意地を見せ、優勝を勝ち取った。
個人戦の決勝戦、3位決定戦は2本先取方式で行い、一本先取された選手が逆転で勝利する等、熱闘を繰り広げた。
また、最多一本勝ち選手に贈られるOB会長賞には第2整備大隊戦車直接支援隊の亀飼士長が受賞した。



個人戦 2年以上の部 優勝	第1整備大隊 施設整備隊 上田士長
個人戦 2年未満の部 優勝	第1整備大隊 火器車両整備中隊 南士長
個人戦 女性自衛官の部 優勝	第2整備大隊 高射直接支援隊 寺町士長

姫路城クリーン作戦

6/10

平成23年12月20日（火）、国宝『姫路城』において実施された「姫路城クリーン作戦」に、連隊から姫路駐屯地所在部隊の第2整備大隊 特科直接支援隊及び高射直接支援隊が参加した。

石垣にロープやハシゴを使って降下しながら草木等を切り落とし、堀に落ちた草木等をボートで回収・清掃を実施。ロープでの降下作業を初めて体験した隊員は、当初、不慣れだったものの、午後には慣れた様子で整齊と草木等を除去していた。

また、連隊長、第1科長及び最先任上級曹長もロープで降下し、伐採作業を体験した。



大天守保存修理中の国宝『姫路城』



作業を体験する連隊長



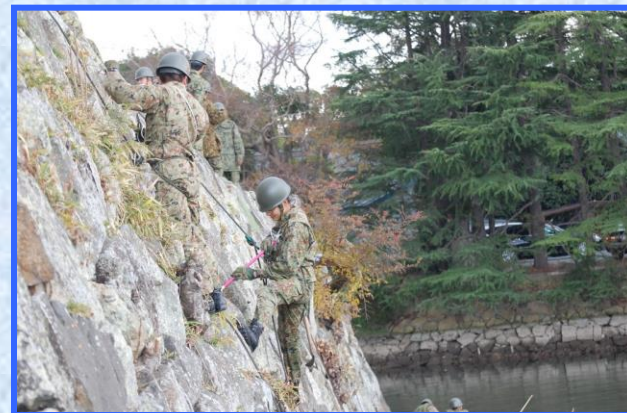
ロープに体を預け作業する特科DS隊員



切り落とした草木をボートで回収



重レックでボートを吊り上げる



高所での作業も慣れた様子の高射DS隊員

年末行事

7/10

連隊は、平成23年12月23日（金）、千僧駐屯地において、年末行事に参加した。

年末行事では餅つきを行うほか、家族支援施策として隊員家族の子供達に参加する宝探しゲームを行った。

また、本行事には連隊協力者及び連隊OB会役員の方々も多数参加していただいた。各部隊長はOBの方と昔話に花を咲かせ、隊員は職場での家族とのふれあいを楽しみ、一年の労をねぎらうとともに新年への活力を養い、ひとときの時間を過ごした。



【つき始め】で餅をつく連隊長



餅をつく連隊OB会会長



隊員と一緒に餅を丸める師団長



お子さんと餅をつく隊員



家族で楽しめる宝探しゲーム



お宝ゲット！！

平成24年訓練始め

8/10

連隊は、平成24年1月11日（水）、平成24年訓練始めとして行進訓練を実施した。

寒さが厳しい日ではあったが、隊員たちは白い息を吐きながら、連隊本部を先頭に長尾山演習場を出発。宝塚市街地を抜け、武庫川沿い・天神川沿いを経て、慣れ親しんだ昆陽池沿いを前進した。また、散歩中の市民の方々と挨拶を交し、市民との交流を図りながら、駐屯地に無事帰隊した。



千僧駐屯地に向け長尾山を出発



武庫川沿いを行進する連隊



『宝塚の花・スマイレ』を眺めながら前進



天神川沿い、まもなく駐屯地へ

定期昇任

2等陸佐へ

補給隊 倉本 耕次郎

准陸尉へ

2整大高射DS 金子 謙一

陸曹長へ

2整大3DS 永野 良和
2整大高射DS 神澤 大輔
衛生隊 砂田 里奈

1等陸曹へ

1整大火車 清水 博光
2整大2DS 岸田 淳
2整大2DS 内田 英憲
2整大2DS 佐野 雅彦
2整大2DS 瀧 秀雄
2整大3DS 柳谷 昌弘
2整大特科DS 山本 健
2整大特科DS 金津 文夫
2整大戦車DS 畑中 雅一
2整大戦車DS 梶原 秀則
補給隊 植 誠明
補給隊 下澤 麻美

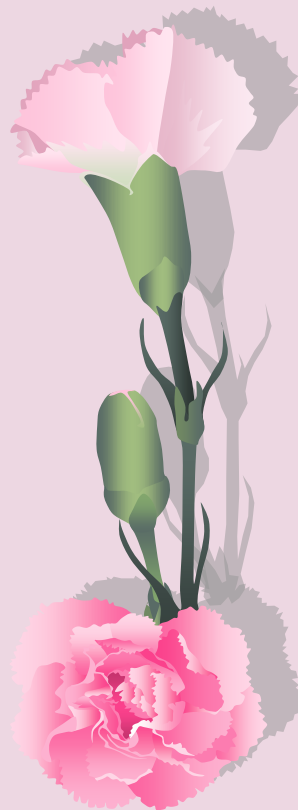
2等陸曹へ

本部付隊 梁池 武志
1整大本付 岩井 武洋
1整大火車 藤田 雄平
1整大火車 阿部 裕介
補給隊 栗田 衣舞
補給隊 保澤 剛志
輸送隊 井上 勉
衛生隊 杉田 真弥

3等陸曹へ

2整大2DS 坂井 賢人
2整大3DS 佐藤 拓志
2整大特科DS 下浦 龍治
補給隊 小田 孔明

以上平成24年1月1日付



編集後記

10/10

読者の皆さん、寒中お見舞い申し上げます。

季節柄、本当に寒くなりました。どうか、くれぐれもご自愛下さいますように。

さて、皆さんの初夢はいかがでしたでしょうか？「一富士、二鷹、三なすび」は、縁起の良い夢と称されますが、実際に見られた方はおられますでしょうか。見られた方は、編集部までご一報下さい。すぐに取材へ駆けつけたいと思います。ちなみに私の初夢は、「宝くじが当たった」夢を見て、わくわくしましたが、実際は、やはりハズレておりました。

「夢、逆夢」と言いますからね、まあ、私はこんなものです。

夢の話はさておき、今年は、「連隊創隊20周年」を迎えることになりました。

平成4年創隊以来、諸先輩の方々が築き上げられた連隊は、日々精進し、精強な部隊へと進化しております。

今年の4月21日（土）に「前夜祭」、4月22日（日）に「第3後方支援連隊創隊20周年記念行事」を予定しています。22日の当日は、記念式典、らっぱ競技会、装備品展示等、各種イベントも予定しておりますので、たくさんのご来場をお待ちしております。

では、次号もよろしくお願ひします。

「六甲」編集部

※ この広報誌は、携帯電話、ご自宅のパソコン等から第3後方支援連隊のホームページにアクセスし、ご覧になれます。

アクセス方法：「第3後方支援連隊」を検索→「第3後方支援連隊のホームページです」→「六甲」をクリック！

アドレス <http://www.mod.go.jp/gsd/mae/3d/3log/index.htm>



広報班長 小南2曹



広報陸曹 久松2曹